



MP3版

みんなの 日本語

大家的日语

中级1

(日) 株式会社 スリーエーネットワーク 编著

外语教学与研究出版社



MP3版

みんなの
日本語
大家的
日语
中级1



(日) 株式会社 スリーエーネットワーク 编著

外语教学与研究出版社
北京

京权图字：01 - 2010 - 1583

© 2008 3A Corporation
PUBLISHED WITH KIND PERMISSION OF 3A CORPORATION, TOKYO, JAPAN

图书在版编目(CIP)数据

大家的日语. MP3 版. 中級. 1 / 日本 3A 出版社编著. — 北京: 外语教学与研究出版社, 2010.4

ISBN 978 - 7 - 5600 - 9571 - 4

I. ①大… II. ①日… III. ①日语—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字 (2010) 第 072606 号

universal tool · unique value · useful source · unanimous choice



悠游网—外语学习 一网打尽
www.2u4u.com.cn

外研社旗下网站, 打造外语阅读、视听、测试、共享的全方位平台

登录悠游网, 您可以:

- 阅读精品外语读物, 独有资源, 涵盖广泛, 学习必备。
- 观看双语视频、名家课堂、外语系列讲座。
- 多元外语测试, 检测外语水平和专项能力, 获得外语学习方案。
- 外语资源共享, 网友互动, 小组讨论, 专家答疑, 语言学习无疑难。
- 网站推出众多精彩大礼包, 可通过积分换购。

贴心小提示:

刮开封底刮刮卡, 获得网站积分充值验证码, 即可到网站注册、充值。

出版人: 于春迟

责任编辑: 田秀娟

封面设计: 孙莉明

出版发行: 外语教学与研究出版社

社址: 北京市西三环北路 19 号 (100089)

网址: <http://www.fltrp.com>

印刷: 北京爱丽龙印刷有限责任公司

开本: 787 × 1092 1/16

印张: 14.25

版次: 2010 年 6 月第 1 版 2010 年 6 月第 1 次印刷

书号: ISBN 978 - 7 - 5600 - 9571 - 4

定价: 36.00 元 (含 1 张 MP3 光盘)

*

*

*

购书咨询: (010)88819929 电子邮箱: club@fltrp.com

如有印刷、装订质量问题, 请与出版社联系

联系电话: (010)61207896 电子邮箱: zhijian@fltrp.com

制售盗版必究 举报查实奖励

版权保护办公室举报电话: (010)88817519

物料号: 195710001

出版说明

《大家的日语 中级》是继《大家的日语1、2》之后，由日本3A股份有限公司策划、编写的综合性日语教材。《大家的日语1、2》自出版以来，以其合理有效的教材编排、生动活泼的课程设置、自然地道的日语等鲜明特色，受到了广大日语学习者的欢迎。为满足广大读者进一步学习的需求，我社继续引进了『みんなの日本語中級I 本册』『みんなの日本語中級I 翻訳・文法解説』，分别将其更名为《大家的日语 中级1》《大家的日语 中级1 学习辅导用书》，以飨读者。

《大家的日语 中级》系列教材沿用了《大家的日语1、2》的教学风格，清晰地提出学习项目和学习方法，精心地设计会话场景和出场人物，并通过大量的反复练习培养学习者的语言应用能力。本套教材以普通日语学习者对象，其场景设置与日常生活息息相关。通过本套教材，您可以学到自然地道的日语。

本套教材还配有MP3光盘一张，建议将本套教材和MP3光盘配合使用，以达到事半功倍的效果。

相信在认真学习本套教材之后，您的日语水平一定会有很大的提高。

外语教学与研究出版社

2010年1月

はじめに

『みんなの日本語中級 I』は『みんなの日本語初級 I・II』に続く総合的な日本語教材として企画、編集されたものです。『みんなの日本語初級』(初版 1998) は初めて日本語を学習する一般成人を対象に短期間で初級の日本語能力が身に付けられるように開発された教材ですが、当初学習対象と想定していた一般成人のほか、進学を目的とした留学生や来日留学生のための初級日本語教材としても用いられ、また、日本国内だけでなく海外でも使われています。

一方、日本の少子化と国際交流の活発化に伴い、日本に定住し、また就労を目的とする外国人も増え続けており、そうした人たちにも学びやすい教科書として『みんなの日本語』が広く使われています。

このように学習者の多様化や教科書のニーズが広がる中、『みんなの日本語初級 I・II』に続く中級教材を求めるところを各方面よりいただきました。本書はその要望に応えるべく執筆、試用、検討を積み重ねて編集、ここに皆様にお届けするものです。

初級日本語は、日本語によるコミュニケーションを必要としている人たちが自分の意思を相手に伝えること、または相手が言ったことを理解できるということが求められますが、中級ではそれに加えて、日本の文化や習慣などを理解するために必要な内容も求められるレベルだと考えます。本書は、そのような学習者にも十分な助けとなりうる内容を用意しました。

最後に、本書の編纂に当たりましては各方面からのご意見や、授業での試用など多大なご協力をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。当社は、これからも多文化共生社会で必要とされる教材の開発、出版などを通じて、人と人とのネットワークを広げてまいります。どうか一層のご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

2008年10月

株式会社スリーエーネットワーク

会長 高井道博

はんれい 凡例

I. 教科書の構成

『みんなの日本語中級Ⅰ』は「本冊 (MP3付)」、ほんやく ふんぼうかいせつ「翻訳・文法解説 (各国語版)」よりなる。
ほんやく ふんぼうかいせつ「翻訳・文法解説 (各国語版)」は英語版のほか、えいご ほん順次刊行していく予定である。

この教科書は、ちゅうきゅうぜんき中級前期 (初級から中級への橋渡し) に必要な「話す・聞く」、「読む・書く」の総合的な言語能力と自ら学ぼうとする力を培うことを目的としている。

『みんなの日本語中級』は本書『中級Ⅰ』と、後に続く『中級Ⅱ』の二冊で日本語学習の中級段階が習得できるようになっている。

II. 教科書の内容及び使い方

1. 「本冊 (MP3付)」

(1) 本課

『みんなの日本語中級Ⅰ』 (全12課) は『みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ』 (全50課) に続くもので、内容は以下のように分けられる。

1) 文法・練習

各課の文法項目を「文型」で提示し、文法用語を使わない。

接続部分が「文」に相当する場合は「…」で示す。

例：「…ということだ」 (第2課)

接続部分が名詞などの「語句」に相当する場合は「～」で示す。

例：「～を～と言う」 (第1課)

ただし、接続部分が「文」であっても、末尾の形が「て形」「た形」「辞書形」「たら形」「ている形」「ば形」など、特定の形を要求する場合は「～」で示す。

例：「～たら、～た」 (第2課)

文法項目 (文型) が実際にどのように用いられているか、例文や談話の形で示す。運用力を養う「練習」を設け、場面や状況を必要とするものには、イラストを用意した。文型練習を踏まえつつも発表を促し、話題を展開させるこれらの練習が会話および読解の実践力を強化する。

2) 話す・聞く

日常生活の中から交渉会話を中心にコミュニケーション場面を選定し、モデル会話を構成した。学習者の興味と学習意欲に働きかけながら、練習の段階を踏み、暗記に頼ることなく最終的に目標の会話ができるようになる。登場人物も『みんなの日本語初級 I・II』で活躍した仲間たちがそれぞれの場面で、会話を展開する。

1. やってみましょう

目標会話への導入。設問に従い、与えられた場面、状況の会話を自分のことばで話す。

2. 聞いてみましょう

MP3「会話」で、各課の「聞くポイント」や表現を注意深く聴く。

3. もう一度聞きましょう

MP3を聞きながら、空欄を埋め、「会話」を完成する（聞き方は、適宜学習者の理解度に応じて行う）。

4. 言ってみましょう

「会話」の発音やイントネーションに注意して、MP3の通りに言うてみる。

5. 練習をしましょう

「会話」に使われている、表現や語句を練習する。

6. 会話をしましょう

イラストを見ながら「会話」を練習し、再生する。

7. チャレンジしましょう

与えられた状況と人間関係を把握し、その課の目標である交渉会話をやる。

3) 読む・書く

「読みましょう」には学習者が興味を持って、楽しみながら読めるものとして12の「読み物」を用意した。

1. 考えてみましょう

読む前の準備として、「読み物」本文の話題に関する知識を活性化させる。

2. ことばをチェックしましょう

「読み物」を理解するのに必要なキーワードを提示（新出語も含まれ

る)。意味がわからない語は辞書を引くなどして確認する。

3. 読みましょう

各課の「読み物」には、「読み方のポイント」として、内容を理解するために必要な読み方のストラテジーやスキルをタスクとして提示した。

大意の把握が的確に迅速にできるようになることを目指す。

「読む」という活動には、「黙読」と「音読」の二つの方法があるが、ここでは後者も大切だと考え、MP3で具体的音声表現の実例を用意した。


4. 答えましょう

「読むときのポイント」のタスクが的確に行われたかどうかを確認する。必要に応じて、詳細な内容に関する質問も用意されている。

5. チャレンジしましょう

「読み物」の内容に関連して、学習者の身近な出来事や体験などをアウトプット（話す・書く）できるようになることを目指す。

4) 問題

「問題」には、聞き取り（）MP3 マークの箇所）、文法、語彙の問題がある。聞き取りには、MP3 を聞いて短い質問に答える問題と、短い会話のやり取りを聞いて要点を把握する問題がある。どちらもその課で習った学習項目を応用し、聞き取りの力の強化を図るものである。文法の問題では、各課の新出の「文型」を確認し、語彙の問題では特に機能語の定着と運用を図る。

(2) 学習項目

1) 「話す・聞く」

① 「会話」のタイトル

② 目標（ストラテジー）

③ 「話す・聞く」に提出された文法項目（文型）（42 項目）

④ *：補足説明（凡例「2. 翻訳・文法解説」の項参照）（9 項目）

2) 「読む・書く」

① 「読み物」のタイトル

② 読みのヒント（ストラテジー）

③ 「読む・書く」に提出された文法項目（文型）（53 項目）

④ *：補足説明（凡例「2. 翻訳・文法解説」の項参照）（8 項目）

(3) 表記と振り仮名

1) 漢字は原則として、「常用漢字表」と「付表」による。

① 「熟字訓」(2字以上の漢字の組み合わせ、特別な読み方をするもの)のうち、「常用漢字表」の「付表」に示されるものは、漢字を用いた。

例：友達、眼鏡、二十歳、風邪

② 国名・地名などの固有名詞、または芸能・文化・家族の呼称などの語には、「常用漢字表」にない漢字や音訓も用いた。

例：厳島神社、夏目漱石、姪

2) 「常用漢字表」および「付表」に示される漢字であっても、学習者の読みやすさを配慮して、仮名書きにしたものがある。

例：ある(有る、在る)、いまさら(今更)、さまざま(様々)

3) 数字は原則として算用数字を用いた。

例：9時、10月2日、90歳

ただし、次のような場合は漢数字を使用した。

例：一人で、一戸建て、一日中

4) 『みんなの日本語中級I』では、本冊の漢字にはすべて振り仮名を付すことを基本とする。

(4) 索引

1) 新出語(約910語)

2) 会話表現(約50語)

3) 漢字(「読み物」全12課に出現した常用漢字のうち、初級相当学習漢字を除いた315字。)

(5) MP3

MP3には、①「話す・聞く」の「会話」、②「読む・書く」の本文、「読み物」③「問題」の「聞き取り」部分が収録されている。アクセントやイントネーションに注意して一語一語の発音を学ぶだけではなく、「会話」や練習では、自然な速さの日本語に慣れ、会話の流れの中で要点を聞き取り、問題に対処できる力を養う。

また、「読む・書く」の本文を聴くときは、文章のジャンルによって異なる日本語の音声による表現の豊かさを味わう。文章の中のどの部分かどう読まれているか、それにはどんなリズムや高さの変化が伴うかなどについて注目する。

MP3で確認することにより、学習者が自分の考えをまとめて、話したり書いたり（アウトプット）するときの総合的な運用能力の基本を養う。

2. 「翻訳・文法解説（各国語版）」（分冊・別売）

第1課から第12課まで、以下のような構成になっている。

(1) 新出語とその訳

新出語・会話表現・固有名詞の提出は、各課とも出現順に従う。

(2) 文法解説

1) 文法項目

各課の文法項目（文型）は、中級段階の学習者に必要とされる文法のシラバスをもとに組み立てられたものである。

2) 文法解説〔各国語〕

文法説明は、学習者にとって必要最小限のものとし、例文によって、その意味・機能をより明確にし、いつ・どこで実際の場面で使えるかを示す。

3) 接続と記号

「本冊」では、文法項目を文型で提示し、文法用語は使用せず例文で示し、接続の形がわかるように配慮している。

「文法解説〔各国語版〕」では、学習者が自分で接続の形を確認できるように、全ての接続の形を示している。また、必要に応じて文法用語を使用している。

4) 参照・補足説明

第二言語というものは、初級からの積み上げであると同時に、スパイラルに（新しい日本語の文法を学ぶときにも、既習の内容を巻き込みながら繰り返すことによって）習得されるものである。『みんなの日本語初級』で学んだ項目や、関連事項を「参照」に示す。また、本冊で「文法・練習」では取り上げていないが、知識として参考になると思われる項目には、補足説明（*：本冊巻末の「学習項目」に提示）を加えている。

(3) 解答

1) 解答

- ① 「文法・練習」「話す・聞く」「読む・書く」
- ② 「問題」（聞き取り問題のスクリプトも含む。）

(^{もんだい}問題によっては^{がくしゅうしゃ}学習者の^{はいけい}背景によりさまざまな^{かいとう}解答が^{そんざい}存在する。ここでは
^{ひと}一つの^{かいとうれい}解答例を^{かか}掲げる。)

2) 「^{はな}話す・^き聞く」^{かいわ}会話スクリプト

3) MP3 の^{ないよう}内容

がくしゅうしゃ みな 学習者の皆さんへ

みな
皆さんが『みんなの日本語中級 I 本冊 (MP3 付)』と別売の『みんなの日本語中級 I
ほんやく ぶんぽうかいせつ かつこくごばん ほんやく ぶんぽうかいせつ かつこくごばん
翻訳・文法解説 (各国語版)』で効果的に学習を進めるために、そのポイントを説明します。

I. 『みんなの日本語中級 I 本冊 (MP3 付)』

1. 文法・練習

「文法項目」は、まずその文型や表現がいつどのような場面や状況で使うことができるか、例文をみて、確かめてください。また、同じようなことが表現できる初級の文型や表現と比べてみてください。次に接続を確かめ、練習をして、実際に「話す・聞く」「読む・書く」の場面で生かしてください。

2. 話す・聞く (会話)

まず、「やってみましょう」では自分の知っている日本語で、会話を作ってください。次に表現語句にも注意しながらMP3を聞いてください。もう一度MP3を聞きながら、_____にことばや表現を書いてください。そして発音やイントネーションに気をつけてMP3と一しょに声を出して読んでください。さらに会話の中で使われている表現を練習します。最後に絵を見て会話をしましょう。

このようなやり方で練習をすると、無理に覚えようとしなくても自然に会話ができるようになり、発展的な「チャレンジしましょう」も無理なくできるようになるでしょう。

なお、会話の SCRIPT は『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説 (各国語版)』巻末の「解答」にあります。

3. 読む・書く (読物)

本文 (文章) を読む前にまず準備をしてください。本文に関係のあるテーマについて考えたり、クラスの人や先生などと話し合ってみましょう。次に、本文の中で使われていることばをチェックしましょう。わからないときは『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説 (各国語版)』の新出語彙や辞書を使って確認してください。

次に、本文を読みましょう。「読むときのポイント」には本文の内容を理解するのに必要なことが書いてありますから、その指示に従って読んでください。

最後に、「答えましょう」で自分がどのくらい本文の内容を理解できたか確かめてください。「チャレンジしましょう」では、本文に関係するテーマで、あなたの知識や経験したことなどを発表したり、作文に書いたりして、読解（活動）のまとめをしてください。

また、巻末の「漢字索引」には、本文に使用された常用漢字（初級の漢字を除く）315字が提出順に載せてありますから、その読み方、書き方、意味、文字の使い方も漢字の学習に役立ててください。

4. 問題（復習）

その課の文法項目や新出語の意味・用法がきちんと理解できているかを、いろいろな問題を解くことによって確認してください。「解答」は『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説（各国語版）』巻末にあります。

5. MP3 (🔊): MP3 マーク)

「MP3」には、①「話す・聞く」の「会話」、②「読む・書く」の「読み物」、③「問題」の「聞き取り」部分が収録されています。

🔊「会話」は、課が進むに従い、話し方のスピードがすこし速くなっています。

自然な速さの日本語に慣れて、会話のポイントを聞き取る練習をしましょう。

🔊「読み物」は、文章の中のどの部分がどう読まれているか、リズムや高さなどについても注意しながら聞きましょう。

🔊「問題」は、その課で学んだことの応用です。聞き取りの力を試みましょう。

II. 『みんなの日本語中級 I 翻訳・文法解説（各国語版）』（別売）

『翻訳・文法解説』は「新出語」と「文法解説」と「解答」から構成されています。

1. 新出語

新出語・会話表現・固有名詞は各課とも出現順に提出されています。新出語や会話表現約 1,000 語は、本文の中で使い方を確かめ、初級で学んだ約 2,000 語とともに、「練習」を重ね、運用力、応用力を養いましょう。

2. 文法解説

各課「話す・聞く」（会話）、「読む・書く」（読み物）に出現した約 100 項目の文

ぼうこうもく ぶんけい ぶんぼうてき せつめい ぶんぼうこうもく ぶんけい い
法項目（文型）について文法的な説明があります。それぞれの文法項目（文型）の意
み きのう まな げんじつ かいわ ぼめん じょうきよう よ もの ぶんみやく なか りかい ふか
味・機能を学び、現実の会話場面、状況、あるいは読み物の文脈の中で理解を深め、
うんよりよく み
運用力を身につけましょう。

3 かいとう 解答

(1) かいとう 解答

① 「ぶんぽう・れんしゅう」「はな ぎ かいわ」「よ みる・か かく」

② 「もんだい」（聞き取り問題のスキriptも含む。）

（もんだいによってはがくしゅうしゃ はいけい かいとう せんざい
問題によっては学習者の背景によりさまざまな解答が存在する。ここでは
ひと かいとうれい かか
一つの解答例を掲げる。）

(2) 「はな ぎ かいわ」会話スキript

(3) MP3 のないよう 内容

この教科書『みんなの日本語中級 I』は、がくしゅうしゃ しよきゅう ちゅうきゅう
学習を進め、ことばのよんぎのう はな ぎ よ か
四技能（話す・聞く・読む・書く）がバランスよく、楽しく学べる
ようにへんしゅう みな ちゅうきゅうぜんき にほんごがくしゅう やくだ つぎ
編集しました。皆さんの中級前期の日本語学習に役立ち、次のステップ（中級
こうき じょうきゅう しゅつぽつてん ねが
後期から上級）への出発点になることを願っています。

もくじ 目次

はじめに

はんれい 凡例

がくしゅうしゃ みな 学習者の皆さんへ

とうじょうじんぶつ 登場人物

だい か 第1課

ぶんぽう れんしゅう 文法・練習

1. ～てもらえませんか・～していただけませんか。
～てもらえないでしょうか・～していただけないでしょうか
2. ～のようだ・～のような～・～のように…
3. ～ことは／が／を
4. ～を～と言う
5. ～という～
6. いつ／どこ／何／だれ／どんなに～ても

2

はな せき 話す・聞く

ねが お願いがあるんですが

- ・頼みにくいことを丁寧に頼む ・感謝の気持ちを表す

7

よ せき 読む・書く

たのみ 畳

- ・ものの歴史と良さについてどこに書いてあるか探しながら読む

11

もんだい 問題

14

だい か 第2課

ぶんぽう れんしゅう 文法・練習

1. (1) ～たら、～た (2) ～たら、～た
2. ～というのは～のことだ・～というのは…ということだ
3. …という～
4. …ように言う／注意する／伝える／頼む
5. ～みたいだ・～みたいな～・～みたいに…

16

はな せき 話す・聞く

なん 何のことですか

- ・わからないことばの意味を聞いて、どうすればいいか確認する

21

よ 読む・書く か が いろいろ こ 外来語	25
・例と意見を探す	

もんだい 問題	28
----------------	----

だい 3 課

ぶんぽう 文法・練習 れんしゅう	30
--------------------------------	----

1. ～(さ)せてもらえませんか・～(さ)せていただけませんか・
～(さ)せてもらえないでしょうか・～(さ)せていただけないでしょうか
2. (1) …ことにする (2) …ことにしている
3. (1) …ことになる (2) …ことになっている
4. ～てほしい・～ないでほしい
5. (1) ～そうな～・～そうに… (2) ～なさそう (3) ～そうもない

はな 話す・聞く き おく 遅れそうなんです	35
---	----

- ・事情を説明して丁寧に謝る ・丁寧に変更をお願いする

よ 読む・書く か じかん 時間よ、止まれ!	39
---	----

- ・グラフから文章の内容を想像する

もんだい 問題	42
----------------	----

だい 4 課

ぶんぽう 文法・練習 れんしゅう	44
--------------------------------	----

1. …ということだ
2. …の・…の?
3. ～ちゃう・～とく・～てる
4. ～(さ)せられる・～される
5. ～である
6. ～まず、～まず、…・～くそ、～くそ…
7. (1) ～(た)がる (2) ～(た)がっている
8. …こと・…ということ

はな 話す・聞く き でんごん 伝言、お願いできますか	49
--	----

- ・伝言を頼む、受ける ・留守番電話に伝言を残す

よ 読む・書く か でんわ 電話嫌い	53
---	----

- ・気持ちの変化を考えながら読む

だい か
第5課

もんだい 問題	56
ぶんぽう れんしゅう 文法・練習	58
1. (1) あ～・そ～ (2) そ～		
2. …んじゃない？		
3. ～たところに／で		
4. (1) ～(よ)うとする (2) ～(よ)うとする／しない		
5. …のだろうか		
6. ～との／での／からの／までの／への～		
7. …だろう・…だろうと思う		
はな き 話す・聞く	い どう行 <small>い</small> ったらい <small>い</small> でしようか	63
	・行き方 <small>い</small> を尋 <small>かた</small> ねる、教 <small>たず</small> える ・道順 <small>みちじゆん</small> を尋 <small>たず</small> ねる、教 <small>おし</small> える	
よ か 読む・書く	ちず 地図	67
	・理由 <small>りゆう</small> を考 <small>かんが</small> えなが <small>よ</small> ら読 <small>よ</small> む	
もんだい 問題	70
ぶんぽう れんしゅう 文法・練習	72
1. (1) …て…・…って… (2) ～って…		
2. (1) ～つもりはない (2) ～つもりだった		
(3) ～たつもり・～ているつもり		
3. ～てばかりいる・～ばかり～ている		
4. …とか…		
5. ～てくる		
6. ～てくる・～ていく		
はな き 話す・聞く	い 行 <small>い</small> かせていた <small>い</small> だき <small>い</small> たい <small>い</small> ん <small>い</small> ですが	77
	・許 <small>きよ</small> 可 <small>か</small> を得 <small>え</small> たいと申 <small>もう</small> し出 <small>で</small> る ・交 <small>こう</small> 渉 <small>しょう</small> して許 <small>きよ</small> 可 <small>か</small> を得 <small>え</small> る	
よ か 読む・書く	メンタル トレーニング	81
	・「こそあど」が何 <small>なに</small> を指 <small>さ</small> すか考 <small>かんが</small> えなが <small>よ</small> ら読 <small>よ</small> む	
もんだい 問題	84

だい か
第6課